

おばま 市議会だより

No. 163



3月定例会の概要	P2
令和2年度当初予算を可決	P4
市政を問う！一般質問	P8

3月定例会の概要

令和2年第1回定例会
が、2月20日から3月23
日まで33日間の会期で行
われました。

今定例会では令和2年
度の当初予算が慎重に審
議され、全会計原案のと
おり可決されました。そ
の他、3月補正予算や専
決処分に関する報告、12
件の条例議案および4件
の人事案件等が提出され
慎重に審査を行いました。

定例会最終日には「第
6次小浜市総合計画調査
特別委員会」が設置され
ました。全ての議案採決
は採決結果一覧をご覧く
ださい。

●主な条例

◆小浜市森林環境譲与税基
金条例の制定について
賛成全員で可決

◆小浜市交通指導員設置
条例の廃止について
賛成全員で可決

◆小浜市印鑑条例の一部
改正について
賛成全員で可決

◆わかさ国府の郷四季

菜館の設置および管理
に関する条例の廃止に
ついて
賛成全員で可決

◆小浜市道の駅の設置お
よび管理に関する条例
の一部改正について
賛成全員で可決

●市会案

◆小浜市議会基本条例の
一部改正について
賛成全員で可決

●特別委員会の設置

◆第6次小浜市総合計画
調査特別委員会の設置
について
賛成全員で可決

●人事案件

◆監査委員の選任について
吉田善人氏（阿納）
賛成全員で同意

◆人権擁護委員の推薦に
つき意見を求めること
について
村山典子氏（一番町）
團野治和氏（中井）
田村和子氏（山手二丁目）
賛成全員で同意

賛成全員で可決

【可決した令和2年度予算】

会計名		令和元年度	令和2年度	増減率
一般会計		151億4,600万円	157億3,800万円	3.9%
特別会計		90億7,634万円	75億4,965万円	▲16.8%
内訳	国民健康保険	30億795万円	33億4,621万円	11.2%
	後期高齢者医療	3億7,222万円	3億7,795万円	1.5%
	介護保険	33億4,793万円	32億9,033万円	▲1.7%
	簡易水道	9,056万円	0 ^(※)	皆減
	下水道	17億1,875万円	0 ^(※)	皆減
	農業集落排水	4億6,690万円	4億6,060万円	▲1.3%
	漁業集落環境整備	7,198万円	7,451万円	3.5%
	加斗財産区	5万円	5万円	0.0%
企業会計		8億4,669万円	34億2,446万円	304.5%
内訳	水道	8億4,669万円	9億533万円	6.9%
	下水道	0	25億1,913万円	皆増
合計		250億6,904万円	267億1,211万円	6.6%

※令和2年度から、簡易水道事業特別会計は企業会計(水道事業)へ、下水道事業特別会計は企業会計(下水道事業)へ移行されました

【可決した令和元年度補正予算】

会計名	既決予算額	3月補正額	合計
一般会計	156億9,291万円	7億1,167万円	164億458万円
特別会計	92億7,519万円	△4,634万円	92億2,886万円
企業会計	8億5,051万円	△60万円	8億4,991万円
合計	258億1,861万円	6億6,474万円	264億8,335万円

◎端数処理の関係
で合計額が一致
しないことがあ
ります。

令和2年第1回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名	
報告	議会の委任による専決処分報告について（損害賠償の額を定めることについて）	予算	令和2年度小浜市下水道事業会計予算	
予算	令和元年度小浜市一般会計補正予算(第7号)	条例	小浜市森林環境譲与税基金条例の制定について	
	令和元年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)		小浜市国民健康保険税条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		小浜市交通指導員設置条例の廃止について	
	令和元年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)		小浜市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市印鑑条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第3号)		わかさ国府の郷 四季菜館の設置および管理に関する条例の廃止について	
	令和元年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市漁港管理条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市道の駅の設置および管理に関する条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計補正予算(第1号)		小浜市営住宅管理条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市水道事業会計補正予算(第3号)		小浜市特別賃貸住宅設置および管理条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市一般会計補正予算(第8号)		小浜市監査委員に関する条例の一部改正について	
	令和2年度小浜市国民健康保険事業特別会計予算		小浜市議会基本条例の一部改正について	
	令和2年度小浜市後期高齢者医療特別会計予算		その他	小浜市若狭町との廃棄物(し尿)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の変更について
	令和2年度小浜市介護保険事業特別会計予算			辺地の総合整備計画の変更について
令和2年度小浜市農業集落排水事業特別会計予算	人事	第6次小浜市総合計画調査特別委員会の設置について		
令和2年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計予算		監査委員の選任について(吉田善人氏)		
令和2年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計予算		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(村山典子氏)		
令和2年度小浜市水道事業会計予算		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(團野治和氏)		
			人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(田村和子氏)	

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 棄=棄権(採決時に退席)

項目	件名	採決結果	杉本和範	東野浩和	川代雅和	坂上和代	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	佐久間博	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対
予算	令和2年度小浜市一般会計予算	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1

※今井伸治議員は議長のため採決には加わっておりません

特別委員会の設置について

第6次小浜市総合計画調査特別委員会
 (17人)
 調査内容：第6次小浜市総合計画の策定に関して調査研究を行います。

委員長	富永 芳夫
副委員長	竹本 雅之
委員	議長を除く 15人

小浜市議会基本条例を一部改正しました

小浜市総合計画の基本計画を議会への報告事件に追加するために、所要の改正を行いました。
 今後も、執行機関の監視機能と政策形成機能の強化を一層図ってまいります。

今月の表紙

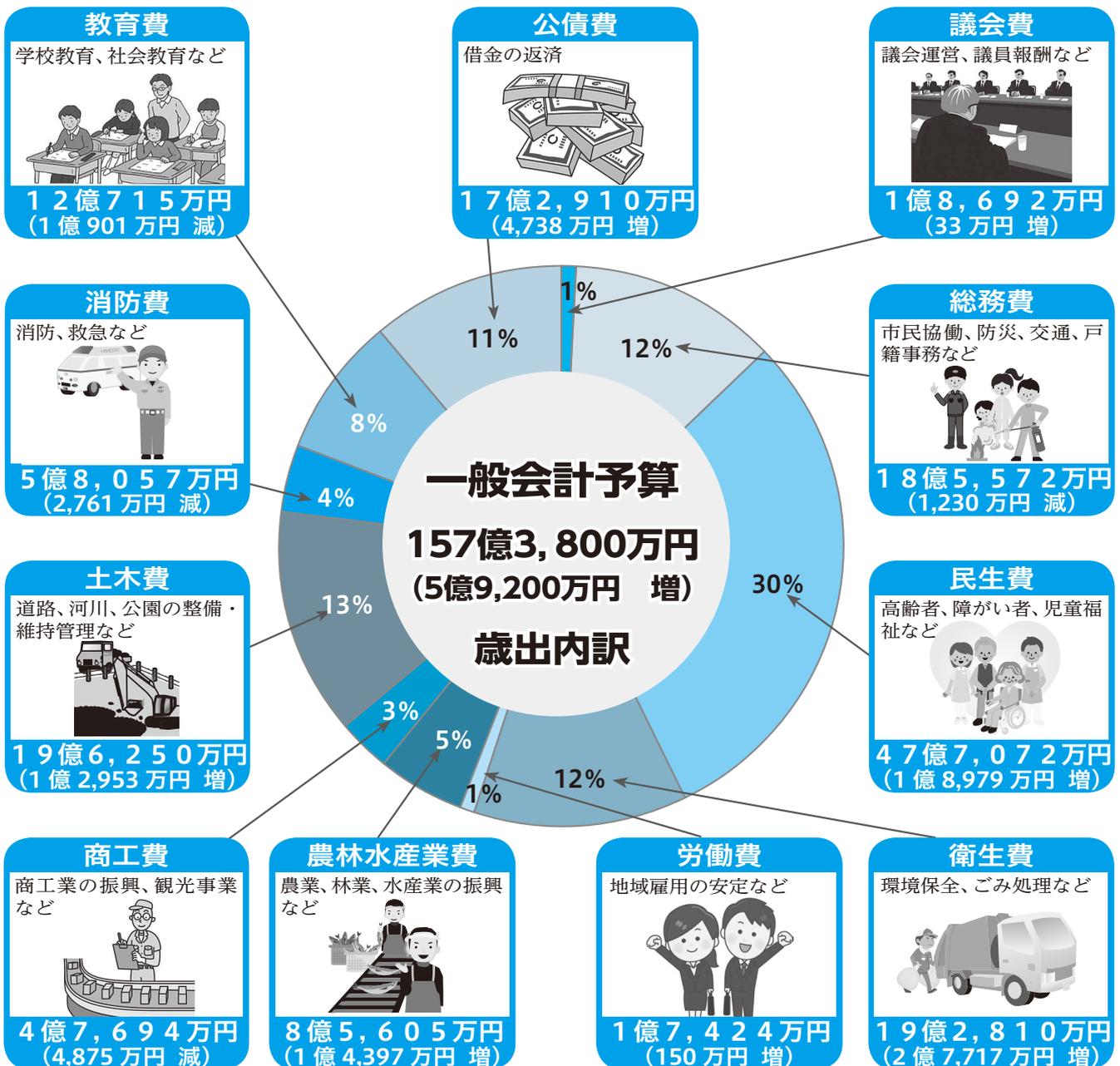
若狭湾のおだやかな海に落ちる夕陽に映える人魚の像を撮影しました。我がまちの誇れる風景の一つです。

原案どおり可決

令和2年度当初予算案を予算決算常任委員会で慎重に審議した結果、全会計とも原案どおり可決しました。

道の駅の四季菜館を改修してのレストラン整備、御食国 食の学校などの食のまちづくり関連予算や、新・健康管理センター設計、児童手当支給などの社会保障の充実に向けた予算が盛り込まれました。

※（ ）は前年度比較



※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

総額 267億1,211万円 令和2年度当初予算

本年度の主な事業

道の駅若狭おばま 農産物活用による地域循環プロジェクト 1億3,961万円

道の駅の四季菜館を改修して農産物を中心としたレストランを整備するとともに農産物の販売強化の計画等を策定する。

第6次小浜市総合計画策定事業

786万4,000円

令和3年度から12年度までの小浜市の長期展望、計画的かつ効率的なまちづくりの指針として計画を策定する。

京都とつなぐ地域経済循環プロジェクト

204万8,000円

京都の料理人と連携して、小浜の食材の品質向上や食のブラッシュアップを図り、小浜への誘客拡大をめざす。

公民館耐震化事業

4,506万円

遠敷公民館の耐震補強工事ならびに国富公民館の耐震補強計画策定、工事実施設計を進め利用者の安全を図る。

企業誘致対策事業

3,669万3,000円

企業用地の管理費とサテライトオフィス誘致のための旅費、委託料、パンフレット製作で企業誘致の促進をする。

新・健康管理センター整備事業

5,440万1,000円

「保健センター」「子育て支援センター」「健康増進・介護予防」の3つの機能を有した新・健康管理センター（令和5年4月供用開始予定）整備に伴う実施設計を行う。

御食国 食の学校

1,086万5,000円

全国から若者を呼び込み、地域おこし協力隊として、料理人や農業者を育成して定住人口、交流人口の増加につなげる。

児童手当支給事業

4億1,795万2,000円

3歳未満および第3子以降の小学生までは、月額15,000円、3歳以上の第1子、第2子および中学生には月額10,000円を支給し経済的負担の軽減を図る。

小規模間伐推進事業

733万7,000円

集約化や効率化が難しく手入れが進まない5ha以下の小規模な人口林における利用間伐と保育間伐を支援し、健全な森林を育成する。

私立認定こども園等教育・保育給付事業

6,560万8,000円

令和2年9月以降幼保連携型認定こども園として開園予定の聖ルカ幼稚園に施設型給付費、預かり保育利用料、副食材料費などを給付する。

おばまだからできること。文化財保存活用地域計画実践事業 86万5,000円

旭座などでシンポジウムや講演会を実施し、住民参加によって市民プレイヤーの養成に努める。

委員会審査

予算決算常任委員会 (3月補正予算)

◆原子力災害対策施設 整備事業(内外海小 学校)

2億5600万
10000円

【説明】 原子力災害発生時に一時避難する屋内避難施設を整備する事業。

【問】 国から100%の補助を受ける施設整備事業だが、その後発生する維持管理経費についての補助の有無と要支援者への配慮は。

【答】 維持管理についても国の補助があり、点検業務や保守管理業務についても補助が受けられる。また、資機材として、間仕切り、敷きマット、毛布を整備する予定である。

◆小中学校ネットワーク 整備事業

2億1135万
50000円

【説明】 国の経済対策とし

て実施する小中学校ネットワークおよび電源キヤビネット整備を行うもの。

【問】 整備の順序や整備後の維持管理は。

【答】 市内11の小中学校および教育委員会で一斉に行うが、児童生徒1人に1台の端末を整備する順序については、国の方針に従い4年間で整備する予定である。整備後の買い替え、端末充電のための電気代等は補助対象とならない。



◆新型コロナウイルス 感染症対策事業

1375万5000円

【説明】 小学校臨時休業措置による放課後児童クラブ開所時間延長に伴う人件費や、保育施設等に、感染防止に必要な物品等を配備するための経費。

【問】 市場では入手困難な物品も多くみられるが、その確保は可能か。

【答】 事前に事業者を確認を行い、予算を計上している物品については確保できる見通しである。

◆予算決算常任委員会 (令和2年度当初予算)

◆会計年度任用職員社 会保険料等

1億4831万
50000円

【問】 会計年度任用職員を243名見込んでいるが、新規採用者数、雇用形態および非常勤職員から会計年度任用職員への変更による予算の変動額は。

【答】 会計年度任用職員は現在の非常勤職員がそのまま移行するものであるが、非常勤職員が退職する場合は、会計年度任用職員を新規採用することとなる。会計年度任用職員はすべてパートでの任用であるが、期末手当が支給されることから、これにかかる社会保険料等も含め、前年度と比較すると約7000万円の増額となる。

◆子ども医療費助成事業

8373万9000円

【問】 県内7市が医療費助成を高校3年生まで拡充することに對して、本市の対応は。

【答】 高校1年生から高校3年生まで拡充すると、約1300万円の増額が見込まれる。県補助の対象が中学生まで拡大したため、拡充を検討したが、他市町の動向などを勘案し、今年度は実施せず、継続して今後も検討することとした。

【意見】 子育て支援の面からしっかりと検討して欲しい。

◆道の駅若狭おばま 産物活用による地域 循環プロジェクト

1億3961万円

【説明】 道の駅若狭おばまを観光振興と農業振興の好循環を創出する拠点施設に拡充するため、地元農産物を活用したレストランと駐車場の整備等を行うもの。

【問】 レストランの運営形態は。

【答】 道の駅若狭おばまの指定管理者である(株)まちづくり小浜と協働で整備を行い、地元農産物の活用や農業の活性化に資する施設にしていきたい。また、観光客等の目的を当施設で完結させず、情報施設等も活用しながらまちなか等へ誘導し、本市全体の観光客を増加させることを念頭に取り組んでいく。

◆企業誘致対策事業

3669万3000円

【問】 サテライトオフィスの誘致活動や委託業務の内容は。

【答】 県東京事務所等が有

する首都圏の企業情報から、本市に縁のある企業や関心のある企業6社に絞り、委託業者と市職員と一緒に企業へ出向き交渉する。委託業務の内容は、営業先のリスト作成や、企業が現地視察に来訪する際のコーディネートなどである。

◆総務民生常任委員会

◆議案第22号 小浜市 交通指導員設置条例 の廃止について

【説明】 地方公務員法および地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、交通指導員が特別職の非常勤職員でなくなるため、条例の廃止をするもの。

【問】 条例廃止後の交通指導員の活動内容および、活動中に発生した災害への対応は。

【答】 今後もイベント時の交通指導など従来どおりの活動を引き続き行っていただく。また、活動中に遭遇した災害への補償については、民間の保険で対応したい。

**◆議案第23号 小浜市
放課後児童健全育成
事業の設備および運
営に関する基準を定
める条例の一部改正
について**

【説明】 基準の一部を改正する省令の施行に伴い、放課後児童支援員に係る経過措置を延長するための改正。

問 経過措置を3年間延長することについて、その考えは。

【答】 法令の改正に伴い、市の実情に応じて内容を定めることが可能となった。現在、支援員の確保に苦慮していることから、3年間の延長により支援員を確保し、事業運営の安定を図っていきたい。

産業教育常任委員会

**◆議案第25号 わかさ
国府の郷 四季菜館
の設置および管理に
関する条例の廃止に
ついて**

【説明】 観光誘客による地域および農林水産業の活性化を図ることを目的と

して地場産農産物を活用したレストランを整備するために、国府の郷 四季菜館の供用を廃止するもの。

問 四季菜館は国の補助事業を活用し整備された施設。耐用年数を経過しないうちに目的外使用してもよいのか。

【答】 整備後10年を経過した施設は長期利用財産となり、その後の利用計画が地域の活性化に資するものであれば、国の承認を得た上で目的外使用が可能である。

**◆第27号 小浜市道の
駅の設置および管理
に関する条例の一部
改正について**

【説明】 道の駅「若狭おばま」に新たにバスターミナルが整備されたことから、施設の構成にバス停留施設を追加するもの。

問 民間バス事業者等のバスターミナル利用に対する有料化についての考えは。

【答】 現時点では予定しておらず、まずは多くのバスに当施設を利用して

ただけるよう優先して取り組んでいきたい。今後、北陸新幹線敦賀開業に伴う利用状況の変化を踏まえながら、有料化についても臨機応変に検討していきたい。



【意見】 バス利用者等が道の駅内の駐車場を長時間利用することも考えられるため、民間事業者等のバスターミナル利用に対する有料化を含め、道の駅利用者の利便性に配慮してほしい。

委 員 会 活 動 報 告

産業教育常任委員会 所管事務調査

調査報告(最終)

本年度の調査報告として、「起業者の創出に向けた取組み」については、市の理念を共有して、行政が横連携の役割を担い、産業における経済好循環を創出すること。「雇用のミスマッチの解消」については、小浜市雇用対策協議会を活用し、魅力ある働

きやすい企業づくりに向けた、多種多様な働き方の検討、各種情報提供、意識啓発等が必要であること。「サテライトオフィス誘致」については、テレワーク等新しい働き方への理解が全国的にも広まっている中、都市部企業と地元住民の交流を生む空間・環境づくりが必要

意見交換会 実施日 令和2年2月12日

担い手・雇用の創出に向けた産業活性化について、ハローワーク小浜より、現在のハローワークの仕組みや業務全般および求人・求職の状況について情報の提供をいただき、



意見交換会の様子

北陸新幹線早期全線開業特別委員会

中央要望活動 実施日 令和2年1月27、28日

北陸新幹線の早期全線開業について、小浜市、北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会と合同で、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム(以下PT)や国土交通省などに対して要望活動を行いました。

PT座長である岸田文雄政調会長からは、「与党PTとして、皆さんの思いをしっかりと受け止めたいので、共に汗をかいて、情報を共有しながら



岸田PT座長への要望

要望では、敦賀・新大阪間の環境アセスメントを沿線

ら努力をしまいたい」との発言をいただきました。

市政を問う！一般質問

令和2年第1回（3月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

氏名	質問項目	氏名	質問項目
風呂 繁昭	1. 令和2年度当初予算について	川代 雅和	1. 水産業の振興等について 2. 動物飼育による情操教育について
牧岡 輝雄	1. 小浜市元気食育推進計画について 2. 新しい学習指導要領について	東野 浩和	1. 災害避難所の現状と今後について 2. 人口減少と若い女性が住むまちについて
坂上 和代	1. 小中学校教員の働き方改革に関して 2. 小中学校の給食調理員業務の現状・問題点	杉本 和範	1. パブリックコメントの活用について 2. 新・健康管理センターについて 3. 給食調理員不足の対策と効果について
能登 恵子	1. 総合運動場陸上競技場の公認継続について 2. 鯉川シーサイドパークを稼ぐ地域に研ぐ 3. 小浜駅前ビスボードの表示について	下中 雅之	1. 健康福祉について
佐久間 博	1. 北陸新幹線を活かしたまちづくりについて 2. 食のまちと生涯教育について	熊谷 久恵	1. 地域内で関係人口を増やす重要性

問 小浜病院への負

答 令和2年度の当初予算は、1年間行政は何をどう取り組むかを示す「実施計画」に該当するものである。基本方針やその内容、市長の意気込みにして特徴を伺う。今年8月に市長は任期満了を迎える。新幹線敦賀開業を3年後に控え、重要時期である。当初予算は骨格予算ではなく、通常予算編成であるが、消費税による消費の鈍化、特に新型コロナウィルス感染がどうか早期に終息する様に願う中、新型コロナウィルスによる影響、大型事業に伴う公債費の増、少子高齢化による社会保障の増、等々重要課題にどう取り組むのか。昨年に比べて予算は3.9%増となっているその理由は。



風呂 繁昭
議員

令和2年度の当初予算は実施計画である

担金算定方法見直しで1億9413万円、太良線・輪中堤内工事や西街道のトンネル照明設置工事等により1億6850万円、道の駅「四季菜館」を、地場産農産物を活用したレストランに改修する工事に1億3911万円、会計年度任用職員制度導入で7827万円、公債費の元金償還で6728万円増等々、一般会計で157億3800万円、昨年より5億9200万円（3.9%増）である。

問 小浜の魅力は何と言っても「食」である。食関連産業を活性化し、経済循環の推進を願う。

答 四季菜館を改修し、地元農産物を中心に扱うレストランを開業する。県立大学、KDDI等と連携して「ICT」活用による鯖の完全養殖技術確立等をめざす。

問 2020年度より

答 平成30年度より移行期間が始まっており、道徳科では、小学校で平成30年度から、中学校では31年度から新学習指導要領によることとし、小学校の外国語は3、4年生の外国語活動および5、6年生の外国語の内容に新学習指導要領の一部を加えて必ず取り扱うものとなり、その対応を各学校で行ってきている。

問 今回の改訂のねらいを伺う。

答 予測困難な時代にあつても対応可能な「生きる力」を育成する。そのために、「何を学ぶのか」に加えて「どのように学ぶか」「何がで



牧岡 輝雄
議員

新しい学習指導要領について

きるようになるか」を重視、プログラミング教育を含む情報活用能力の学習で、目標がより確実に達成されることがねらい。

問 小浜市拉致問題理解学習教材を使った学習のねらいを伺う。

答 重要な人権課題である北朝鮮による拉致問題に対する理解を若年層に啓発することにより風化を防ぎ、早期全面解決につなげる。

問 ICT環境の整備状況を伺う。

答 小中学校パソコン室の整備はできており、今年度から電子黒板機能付き大型モニターと教師用タブレットの整備も始めている。今後のデジタル教科書の使用や個別最適化する学習への対応で、各学校一斉に動画の視聴が可能となるネットワーク整備を行い、令和2年度から5年度にはGIGAスクール構想に向けた児童生徒一人1台の端末整備を段階的に行う計画である。

一般質問



坂上 和代
議員

問 教職員の異常な長時間労働を是正するにはどうすべきか、という観点から質問する。小・中学校の教職員の超過勤務の状況は。

答 月80時間以上の超勤は、昨年4月の調査では小学校2・1%、中学校26・9%であったが、今年1月の調査では、小学校はゼロ、中学校は6%にまで減少した。

問 月80時間ということは1日4時間の超勤で過労死ラインである。これが減ったとしても超勤が減ったとは分からない。昨年国会で制定された「給特法改正法」とはどのようなもので、それが、長時間労働解消にプラスにはたらくのか、評価を問う。

答 働く時間を1年単位で調整して、繁忙期に勤務時間を延長し、

教職員の異常な長時間労働解消のために

閑散期にその分を短くする、変形労働時間制の導入を可能とするもの。ただしその導入にあたっては、超勤の上限、月45時間以内が順守されていることが前提であり、これが定着しなければ、見かけ上の超勤解消になりかねないため、慎重に検討したい。

意見 この法律は、最大1日10時間労働を可能とするもの。実施するには県の条例で決まるので、導入しないように県にはたらきかけていただきたい。

問 学校給食調理員不足の現状とその解決策を問う。

答 31人中12名不足している。業務委託による自校式給食を実施している他市町を参考にしながら検討している。

意見 「食のまちづくり条例」を制定している本市の宝である、「自校直営、校区内型地場産学校給食」を守っていただきたい。



能登 恵子
議員

問 総合運動場陸上競技場の公認を継続して、子どもたち固有の能力を認め、また、多くの住民の健康増進のため整備できないのか問う。

答 今は県大会等が開催できる第3種競技場として公認されている。県内体育施設の共通課題として施設の老朽化が問題であり、安全に活動できるように、他スポーツ施設との平等性を考慮し全体計画の中で計画的に検討をしていきたい。

問 鯉川シーサイドパークには活用資源がいっぱい、DMOを活用し稼ぐ地域に研かないと勿体ない。地元熱意に支援を求め。

答 鯉川シーサイドパークは多くのセールスポイントを持っている。工夫次第では新たな客層獲得につながる。来る夏

鯉川シーサイドパークを研き活性化を

の海水浴場開設には、東エリアをマリンスポーツエリアとし体験観光促進の一助に。また、ソフト面はDMOの知見を、ハード面は県の協力を得ながら、効果的な再活用策を地元の皆さまと一緒を考えてまいりたい。

問 小浜駅前LED電光掲示板の表示について、何年も変化の無い表示内容に疑問があるとの声から伺う。市民の声、川柳・俳句などアイデアを募集し、研かれた観光を素早く表示してもらいたい。

答 駅前電光掲示板「若狭路博2003」に合わせて設置。年間を通して観光情報とスポット情報が発信される。15年経つ古いシステムのため困難もあるが、新しい企画や市民に親しまれる情報発信にも努めたい。



小浜駅前LED電光掲示板



佐久間 博
議員

問 高速路線バスの受け入れ態勢は。

答 道の駅バスターミナル利用促進を進める。

問 小浜線の高速化、観光列車運行の予定は。

答 「嶺南地域公共交通網形成計画」で実現可能な方策を検討中。

問 「小浜市新まちづくり構想」とは。

答 「スマート&スローシティ御食国若狭おま」をスローガンとして市民に周知していく。

問 「新まちづくり」構想の進め方は。

答 官民連携してベクトルを合わせて商工会議所等と市民協働を進める。

問 整備新幹線着工5条件の課題は。

答 建設財源の確保が最大の課題で、国に積極的に要望していく。新まちづくりへの

新まちづくり実践で未来の小浜を創造！

意気込みを伺う。
答 小浜の誇れる文化、風土、暮らしに未来の革新が融和し、住む人訪れる人が心惹かれるまちづくりを進める。

問 「生涯食育」とは。

答 食育文化都市宣言から多様な食育事業を総称している。

問 「食育ツーリズム」の目指すところは。

答 観光客のニーズが「体験重視」なので、食育事業を充実していく。

問 「キッズキッチン」の今後の展開は。

答 「料理を学ぶのではなく、料理で学ぶ」のコンセプトで参加者の変化や成長をデータ化し事業効果を高める。

問 「食のまちと生涯食育をどう磨くのか。

答 「キッズキッチン」は食体験を通して人との関わり方や心の成長をめざしてきた。民間企業の連携による広域発信もめざすことで、本市のブランド力を高めていきたい。



川代 雅和
議員

問 ICTの活用による
鯖養殖技術確立の進
捗状況と確立後の波及
をどうするのか伺う。

答 県、県大、KDDI
(株)等との連携を進め
ている。人工種苗生産技
術の確立およびIoTセ
ンサー等で蓄積したデー
タを分析し効率的な養
殖技術の確立に取り組
んでいる。将来的に、確立
した技術を地域の漁業
者への普及に取り組む。
問 「鯖復活養殖拡大
プロジェクト」の進捗状況
を伺う。

答 地元関係者等の出
資により設立した田鳥
水産(株)が養殖・販売を
担う体制で事業を行い
小浜よっぱらいサバの販
路拡大に取り組んでい
る。今後、サブブランドの
価値を高め販路拡大に
取り組む。令和4年度に
は3万尾まで養殖規模

魚介類の養殖振興と情操教育について

の拡大を目指す。
問 「カキ養殖新技術導
入プロジェクト」につい
て伺う。

答 近年のマガキ生産
量の減少等の対策とし
て、カキ養殖の作業負担
軽減や生育・生残の安定
が図られる新たな技術
による試験養殖を開始
した。令和2年度から試
験養殖の支援と「小浜カ
キ」としてPRをする。
また、試験養殖により技
術を確立し、新技術によ
るマガキ養殖の普及拡
大等に取り組んでいき
たい。

問 市内小学校でモル
モット飼育による情操
教育が行われている。飼
育に係る経費等の支援
について伺う。
答 動物を育てる活動
を通じて、児童に「共感
する心」や「生命尊重の
心」を培っていくことは、
情操教育において重要で
あり、今後は情操教育に
おける活動に支援ができ
るよう努めていきたい。



東野 浩和
議員

問 自主的に避難を希
望する市民のための自
主避難所開設の必要性
について考えを伺う。

答 地域の独自性にお
いて近隣の集会所などが
自主避難所として開設
されている。事前の確認
と情報収集に努めていた
だきたい。

意見 希望する市民に
対して、確実に速やか
な避難ができるよう、
現状においては、行政
主導で行うべき。
問 災害避難所を巡る
全国自治体アンケート
に対する小浜市の回答
はどのようなものか。

答 改善が急がれる課
題として「断水時に使う
仮設トイレの配備」、「段
ボールベッドや簡易ベッド
の配備」、「バリアフリー
対応」の3点について回
答させていただいた。

問 課題についての今

災害避難所の体制充実と意識向上を！

後の対応は。

答 現在の備蓄数から
今後も引き続き、計画的
に配備を進めていく。「バ
リアフリー避難所」の5
施設については、要配慮
者の受け入れ態勢を整
えているところである。

問 避難所の運営マニ
アルにおいて、記載され
ていない事象が発生し
た場合に備えた配置職
員の意識向上は。

答 想定外の事象発生
に対しても、柔軟な判
断・対応ができるよう平
時より意識向上に向け
た研修を進めていく。

問 リゾート新線建設
基金の活用について、J
R小浜線の充実・強化に
集中して活用すべきと
考えるか。

答 JR小浜線は嶺南
地域の公共交通の中心
的な役割を担っている。
キャッシュレス化による利
便性の向上や荒天時の
運休対策などに活用で
きればと考えている。



杉本 和範
議員

問 令和5年完成予定
(総工費13億円)の新・
健康管理センターにつ
いて市が推し進めてい
る食のまちづくりを健
康と結びつけ、総合的に
健康増進を図っていく
施設にしていく必要が
あると思うが、考えを伺
う。

答 現在、健康管理セ
ンターが中心となり、健
康づくりの3要素であ
る栄養、運動、休養につ
いて、乳幼児期から高齢
期に至るライフステー
ジ毎に普及啓発、各種健
康診査、健康相談、健康
教育等を実施している。
また、小浜市元気食育
推進計画では、食育によ
る「健康づくり」を重点
テーマとして位置付けて
おり、食文化館や健康管
理センター等の関係機関
が連携し、市民の皆様が
「選食力」(健康に良い

食を選ぶ力)や「フードリ
テラシー」(食について理
解した上で活用する能
力)の向上に努めている。
新・健康管理センター
においては、健診や育児
相談の保健機能や子育て
支援センターの子育て
機能、フィットネス等の健
康づくり、介護予防機能
など様々な機能を有機
的に結びつけることで、
市民の皆様これまで以
上に健康、子育ての喜び
を実感していただき、健
康増進や健康状態、子育
ての「見える化」感じら
れる化を進めていける
と考えている。

新・健康管理センターの管理含む方向性

健康づくりは、人づく
りであり、まちづくりで
あることを念頭に、市民
が健康で自立して長生
きできるよう保健・福祉
の拠点として総合的に
市民の皆様健康づくり
を支援していきたくと考
えている。

一般質問



下中 雅之
議員

問 避難行動要支援者の個別支援計画策定に対する、今後の取り組みについて伺う。

答 個別支援計画は、災害時の要支援者の避難行動を定める重要なものであることから、策定が困難な地区に出向き、課題を整理しながら避難行動要支援者がいる全区に策定していただけるよう促進してまいりたい。

問 小浜市における児童虐待相談の件数は、本年2月末現在30件と前年度に比べ大きく増加しているとのことだが、児童虐待防止対策体制総合強化プラン等に基づく今後の取り組みについて伺う。

答 「子ども家庭総合支援拠点」を令和4年度までに子ども未来課内に置き、令和5年度からは、

地域住民全体で支えあえる取り組みを！

「新健康管理センター」内に移す予定である。

問 新型コロナウイルススにより、市民生活にも多くの制限がかかるなか、放課後児童クラブは開所されているが、その対応と取り組みについて伺う。

答 感染予防に十分留意しつつも、市民のニーズに対応するため、学校の臨時休業期間においても引き続き開所することとした。具体的には、3月2日から4日までは、会員を対象として、通常の開所時間である「下校後」を午後1時に繰り上げて、午後6時までの受け入れを行った。3月5日からは、教職員・学校支援員等の協力も得ながら、午前8時から午後6時までの受け入れを行っており、小学1年生から3年生までで、どうしても家庭で見ることができない児童については、新規受付も行って



熊谷 久恵
議員

問 小学生が提案する活性化策の活かし方は。

答 地域の方や専門家等との関わりから、提案が実現や商品化につながることもある。

問 ふるさと教育の効果の検証は。

答 小学6年・中学3年の小浜への愛着度は「小浜が好き」95・90%「まちづくりに関心ある」63・47%「参画したい」56・42%と関心はあるも学年が進むにつれやや低下。次年度から中学もふるさと教育を展開する。

問 市外より年間5600人来る阿納の「命をいたたく食の教育」を地元中学生は体験するか。

答 体験していない。情報発信に努めたい。

意見 小浜ならではの食の教育強化を求める
問 課題解決に向けた

小浜内関係人口を増やすことの重要性

高校生の探求活動の、民間企業や地域が知る機会と市の関わりは。

答 高校・専門・大学の「学生が考えるまちづくりコンテスト」を予定。周知と共に行政や民間事業者と連携して学生が活躍できるまちの実現につなげる。

問 県大生の研究成果を地域提供出来ないか。

答 小浜キャンパスを育てる会の研修会で発表の機会はある。学生の研究やアイデアが商品開発や改良につながることを期待し、公開等は大学と協議したい。

問 住民と連携した地域づくり参画に対し、大学生の居住援助をする事例があるか。

答 3年間在住する大学生の地域づくり参画は効果が期待できる。参考にしたい。

問 理解や共感を生む横の関係が重要では。

答 市民・団体・事業者・行政の協働で地域力を高め、持続可能な地域をつくりたい。

編集後記

新型コロナウイルス感染症への対応に多忙を極めておられる方々に頭が下がります。本市議会におきましては、3月定例会で、緊急の感染症対策の補正予算を可決しました。

今後とも、議会として行政と課題を共有し取り組んでまいります。

(広報委員 坂上和代)

6月定例会を開催します

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

日	程
6月4日(木)	本会議
6月18日(木)	一般質問
6月19日(金)	一般質問
6月26日(金)	本会議

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、変更等が生じる場合があります。

「松永六感」プロジェクトは、松永地区にゆっくり滞在して、川や風の音に耳を澄ませることや、華やかな精進料理を味わうなど、季節を感じる体験により五感を整え、明通寺への参拝や阿字観瞑想などをとおして自分を見つめる体験を提供する「農泊」の取り組みです。

地域の活性化をめざして、松永農泊推進協議会が主体となって動き出しています。



松永六感公式ホームページより

キーワード 農泊

農泊とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験と、地域の人々との交流を楽しむ、滞在型旅行のことです。

国は、その地域に存在する資源に対する発見と活用をすること、地域一丸となって農泊が実施できる体制を整備することをめざしています。

シンポジウム「御食国アカデミー特別編・松永六感」取材しました！

2月28日に明通寺で開催されたシンポジウムでは、推進協議会の担当者による松永六感の概要説明の後、食に携わる専門家お二人の講演が行われました。

講演では、中東篤志さん(OneRiceOneSoup(株)代表)が、「地元で採れた旬の物をいただく豊かさ^{なかひがしあつし}と瞑想との組み合わせで、疲れた現代の人々の考え方・生き方がリセットできたらいいと思う」と語りました。岩佐十良さん(雑誌「自遊人」編集長)は、「今は感性の時代で、本質的なもの、本当によいものだけが残る。地元の人^{いわさとおる}は気づいてないかもしれないけれど、松永の潜在的観光資源に気づくことが大切」と強調していました。



シンポジウムの様子

～取材を終えて～

今まで当たり前と思っていた、川のせせらぎの音や野の草花なども、貴重な資源であることを再認識しました。このプロジェクトによって、地域の交流の輪が広がり、持続的な地域の振興につながることを期待されます。

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約2週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。



あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか?? 小浜市議会だよりの表紙写真 募集中!!

詳しい要項や過去の議会だより表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
 2. 画像データは1作品2～3MB程度のJPEGデータ
- ※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2～3MB程度でお願いします。

【応募方法】

- ・応募は、データの持参またはメールでお願いします。

メールアドレス：gikai@city.obama.fukui.jp

- ・作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

※春季の議会報告会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を見合わせることにいたしました。